



# IBM i PTF インストール説明書

\*\*\*\*\*

IBM i 累積 PTF パッケージ  
インストール説明書  
SF99610 レベル 12122  
パッケージ ID: C2122610  
バージョン 6 リリース 1.0

\*\*\*\*\*

累積 PTF パッケージ説明書 最終更新日: 2011/05/11

注: この資料は、オンライン版がマスターです。印刷されたものは最新版でない可能性がありますので、最終更新日がオンライン版のマスターと一致しない場合は使用しないでください。

この資料に記載されている情報は、この累積 PTF パッケージが利用可能になった時点の内容です。最新の情報を入手されることをお勧めします。最新の情報は、次の URL にあります。

[http://www-912.ibm.com/s\\_dir/sline003.nsf/sline003home](http://www-912.ibm.com/s_dir/sline003.nsf/sline003home)

この Web サイトより、「All Preventive Service Planning Documents by Release」を選択し、それから「R610」を選択してください。PSP SF98610 には、この累積 PTF パッケージに含まれていない HIPER PTF や、このパッケージのリリース後に見つかった障害の PTF のリストがあります。

V5R4M0 から、次の 3 つのフォーマットの累積 PTF パッケージから 1 つを選択して使用できるようになりました。

- 個々の PTF 保管ファイルとして電子的にダウンロードする
- 光イメージ・ファイルとして電子的にダウンロードする
- 物理的な CD メディア (電子的にダウンロードできない場合)

この文書のインストール手順では、それぞれのフォーマットに必要なインストール手順を説明してあります。

\*\*\*\*\*  
\* IBM i PTF インストールを始める前のご注意 \*  
\*\*\*\*\*

すべての PTF のオーダーに関して、必ず PTF をインストールする前に、提供される各 PTF のカバー・レターに目を通し、ご使用のシステムに該当する特別な指示事項をご確認ください。この累積 PTF パッケージについては、特別な指示事項はこの文書に書かれており、累積 PTF パッケージのメディア自体には、PTF カバー・レターは含まれておりませんのでご注意ください。ただし、お客様が累積 PTF パッケージをオーダーされた際には、自動的に最新の HIPER PTF グループおよびデータベース PTF グループが、累積 PTF パッケージと一緒に送付されております。お客様は、これらの PTF グループの中で、ご使用のシステムに適用される PTF のカバー・レターをお読みいただく必要があります。PTF カバー・レターのコピーや印刷（または表示）を行うために必要なコマンドは、下記に記載されています。

1. PTF カバー・レターをコピーするには:

- PTF の入ったメディアをマウントし、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンしてください。
- まだシステムに適用されていない PTF のカバー・レターをメディアからシステムにすべてコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)
```

- 特定のカバー・レターをメディアからシステムにコピーするには、次のコマンドを実行します。

```
CPYPTFCVR DEV(device_name) LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)
```

2. PTF カバー・レターを表示または印刷するには:

- PTF カバー・レターを表示、または印刷を行う前に、メディアからコピーする必要があります。
- 現在システムに適用されていないすべての PTF のカバー・レターを表示、または印刷するためには、以下のコマンドを実行します。

```
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY)  
DSPPTFCVR LICPGM(*ALL) SELECT(*NOTAPY) OUTPUT(*PRINT)
```

注: DSPPTFCVR コマンドに CVRATR(\*SPCINST) パラメーターを指定して、特別な指示があるカバー・レターをすべて表示することもできます。

- 特定のカバー・レターを表示または印刷するためには、次のコマンドを実行してください。

```
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id)  
DSPPTFCVR LICPGM(product_id) SELECT(ptf_id) OUTPUT(*PRINT)
```



\* 「一時的に適用 (Temporarily applied)」または \*  
\* 「永続的に適用 (Permanently applied)」であることを確認してください。 \*  
\* PTF SI43939 が見つからない、またはアクティブでない場合、 \*  
\* この累積 PTF パッケージをインストールする前に、 \*  
\* PTF SI43939 をダウンロードし、一時的に適用してください。 \*  
\* \*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\* この累積 PTF パッケージは特別処理の PTF (V6R1M0 システム用の \*  
\* MF50838、V6R1M1 システム用の MF51225) を含んでいます。 \*  
\* これは、この累積 PTF パッケージのアプリケーションが、 \*  
\* APAR MA39373 に記述されている予測不可能な結果を引き起こさないように \*  
\* するためのものです。この累積 PTF パッケージの適用が遅延して \*  
\* (特別処理の PTF では自動的に発生する) その後パッケージを適用しようと \*  
\* した後に、リターン・コードX'C0' のメッセージ CPF7206 を \*  
\* 受け取ります。追加のサポートが必要な場合、 \*  
\* ソフトウェア・サービスのプロバイダーにご連絡ください。 \*  
\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*  
\* ご使用のシステムに 5798FAX のバージョン V5R2M0 がインストールされて \*  
\* いる場合には、このパッケージをインストールするときに QFRCCVNRST の \*  
\* システム値を 1 にしてください。あらかじめ元の値を書き留めておいて、 \*  
\* インストール完了後に QFRCCVNRST の値を元に戻してください。 \*  
\* \*  
\*\*\*\*\*

この累積 PTF パッケージのインストール時間は、およそ 3 ~ 5 時間です。

このパッケージを適用する前に、現行システムのバックアップをとっておく必要があります。最後に PTF をインストールした以降に、システムのバックアップがとられていれば、そのバックアップを使用できます。

制御パネルで IPL モードが通常 (N) に設定されていることを確認してから、QSECOFR などの機密保護担当者ユーザー・プロファイルでサインオンします。

どの手順もいったん開始したらキャンセルしないでください。各手順が正常に完了するようにしてください。

ご使用の累積 PTF パッケージのフォーマットに合わせて、以下のインストール手順から適切なものを選択してください。

\*\*\*\*\*  
\* 光イメージ・ファイルからのインストール \*  
\*\*\*\*\*

この手順は、光イメージ・ファイルとして累積 PTF パッケージをオーダーして電子的に受け取った場合に使用してください。

1. イメージ・カタログを作成して、イメージ・ファイルをカタログに追加します。イメージ・カタログの作成方法については、iSeries インフォメーション・センターを参照してください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/i5os/index.jsp?topic=/icbase/rzahg/rzah8updates.htm>

(IBM i および関連ソフトウェア -> IBM i および関連ソフトウェアの保守管理 -> ソフトウェアの修正の使用 -> 修正のインストール -> 手順 3:修正のインストールのシナリオを選択する -> イメージ・カタログから修正をインストールする)

2. 次のコマンドを使用して、イメージ・カタログを仮想光ディスク装置にロードします。

**LODIMGCLG IMGCLG(ptfcatalog) DEV(OPTVRTxx) OPTION(\*LOAD)**

3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

装置. . . . . OPTVRTxx (例: OPTVRT01)  
自動 IPL. . . . . Y = YES または N = NO  
媒体のプロンプト. . . 1 または 3  
再始動タイプ. . . . \*SYS  
その他オプション. . . Y = YES

注: 個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

PTF の省略 . . . N = NO または Y = YES  
適用のタイプ . . 1 = すべての PTF を遅延にセット  
PTF タイプ . . . 1 = すべての PTF  
PTF のコピー . . N = NO または Y = YES

注: 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

注: 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

7. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。イメージ・カタログにロードされたすべてのボリュームが、自動的に処理されます。
8. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

\*\*\*\*\*  
\* CD メディアからのインストール \*  
\*\*\*\*\*

この手順は、物理的な CD メディアとして累積 PTF パッケージをオーダーして受け取った場合に使用してください。

1. 次のコマンドを入力して、Enter キーを押します。

**CHGMSGQ QSYSOPR \*BREAK SEV(70)**

このステップにより、次のボリュームのマウントが必要であることをシステムが感知した時に、必ず中断メッセージが表示されるようになります。重要 -- システムに適用できる PTF が残りのボリュームにない場合は、他のボリュームのマウントを求めるプロンプト画面は表示されません。

2. 使用するメディア装置の該当するドライブに、C2122610\_01 というラベルの累積 PTF パッケージ・メディアのボリューム 1 がロードされていることを確認してください。
3. コマンド行に GO PTF と入力し、Enter キーを押します。
4. メニューで、オプション 8 を選択し、Enter キーを押します。
5. 下記のオプションが適切かどうか確認し、下記の「注」をよくお読みいただいた上で、「プログラム一時修正の導入オプション」画面でオプションを入力し、Enter キーを押します。

装置 . . . . . OPTxx (例: OPT01)  
自動 IPL . . . . . Y = YES または N = NO  
媒体のプロンプト . . . . . 2 または 3  
再始動タイプ . . . . . \*SYS  
その他オプション . . . . . Y = YES

**注:** 累積 PTF パッケージとともに HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするには、「媒体のプロンプト」のフィールドに 2 を入力します。

個別の PTF および/または PTF グループが保管ファイルとして出荷されていて、累積 PTF パッケージと同時にインストールする場合は、「媒体のプロンプト」のフィールドに 3 を入力します。

6. 下記のオプションが適切かどうか確認し、その下の「注」をよくお読みいただいた上で、「その他の導入オプション」画面でオプションの入力を完了し、Enter キーを押します。

PTF の省略 . . . . . N = NO または Y = YES  
適用のタイプ . . . . . 1 = すべての PTF を遅延にセット  
PTF タイプ . . . . . 1 = すべての PTF  
PTF のコピー . . . . . N = NO または Y = YES

**注:** 前のオプション指定によっては、表示されないフィールドがあるかもしれません。

**注:** 省略したい PTF がある場合は、「その他のオプション」フィールドに Y を入力し、続いて表示される画面の指示に従ってください。PTF を省略するインストール手順の詳細については、Appendix A のセクションをご参照ください。

7. 画面に、PTF が適用されるライセンス・プログラム名が表示されます。
  - a. 各 CD ボリュームの処理が終了するたびに、次の CD をマウントするようにメッセージが表示されます。指示されたボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。
  - b. 累積 PTF パッケージの適用可能なボリュームすべての処理が終了すると、自動的に、HIPER およびデータベース PTF グループをインストールするための次のメディア・セットの最初のボリュームをマウントするようメッセージが表示されます。ボリューム・セットの最初のボリュームをマウントして、処理を続行するためにオプション G を入力してください。

c. 他のボリュームがあれば、同じようにしてマウントをしてください。ボリューム・セットのすべての処理が終了したら、PTF のインストールを終了するためにオプション X を入力してください。

注: ご使用のシステムに適用できる PTF がボリュームに含まれていない場合、システムはボリュームのマウントを要求するプロンプトを表示しません。

8. 「インストール・プロセスを完了する」のセクションに進みます。

\*\*\*\*\*  
\* インストール・プロセスを完了する \*  
\*\*\*\*\*

この手順でインストール・プロセスを完了してください。

1. PTF インストール処理を完了させるのに必要な IPL を受け取っている場合 (エスケープ・メッセージ CPF362E):
  - a. システム上のすべてのジョブを終了し、B IPL ソースに対して通常モード IPL を実行します。
  - b. サインオン画面が表示されたら、ステップ 4 に進みます。
2. 特別な PTF のための IPL の確認の画面が表示された場合は、ステップ 1a に進みます。PTF のインストールが終了したら、ステップ 3 に進みます。
  - a. F10 キーを押してシステム上のすべてのジョブを終了し、IPL を実行します。
  - b. サインオン画面が表示されたら、ステップ 4 に進みます。
3. 「自動 IPL オプション」に Y (YES) を入力した場合、システムは自動的に IPL を実行します。「自動 IPL オプション」に N (NO) を入力した場合は、パッケージのインストールを完了する準備ができた時に PWRDWN SYS コマンドを使用してください。
4. IPL が完了した後で以下の手順を実行して、累積 PTF パッケージが正しくインストールされたことを確認してください。
  - a. QSECOFR でサインオンします。
  - b. 任意のコマンド行に WRKPTFGRP SF99610 と入力します。
  - c. 「状況」フィールドが「インストール済み」で、「レベル」フィールドが「12122」の場合は、ステップ 5 に進みます。それ以外の場合は、ステップ 4d に進みます。
  - d. 任意のコマンド行に GO LICPGM と入力します。
  - e. Enter キーを押します。「ライセンス・プログラムの処理」画面が表示されます。
  - f. オプション 50 を選択します。
  - g. Enter キーを押します。「導入履歴の表示」画面が表示されます。
  - h. Enter キーを押します。「活動記録ログの内容の表示」画面が表示されます。
    - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされた場合には、PTF の適用が完了したことを示すメッセージが表示されます。ステップ 5 に進みます。
    - 累積 PTF パッケージが正常にインストールされなかった場合には、PTF の適用が失敗したことを示すメッセージが表示されます。お客様のソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご相談ください。
    - 前回の IPL で異常があった場合には、ライセンス内部コードの PTF のみ適用されます (5761999)。次のコマンドを入力して、前回の IPL で異常があったかどうかをチェックすることができます。

#### **DSPSYSVAL SYSVAL(QABNORMSW)**

IPL で異常があって、システム・インストールの直後にこのパッケージをインストールした場合には、残りの PTF を適用するためにもう一度 IPL を実行してください。

5. マシン・コードのサーバー・ファームウェア部分に適用される修正をアクティブにするために、サーバーの IPL の実行が必要となる場合があります。

サーバー IPL 中は、サーバー上のすべての論理区画が同時にシャットダウンします。これによってサーバーのファームウェアが新規レベルになります。

お客様のシステムに IBM i サービス区画が定義されていて、ハードウェア管理コンソールでサーバーのファームウェアのレベルを制御するのでない場合は、マシン・コードのサーバー・ファームウェア部分にインストールした PTF が適用されるために、サーバーの IPL の実行が必要となる場合があります。

ご使用のシステムにサービス区画を運用しているか、また PTF にサーバー IPL が必要かどうかを判断するには、以下のステップを実行してください。

- a. ご使用のシステムがサービス区画であるかを判断するには、以下のコマンドを入力して Enter キーを押します。

**DSPFMWSTS**

- b. 「ファームウェア状況表示」画面が表示されます。サービス区画のフィールドに No が表示されている場合は、ご使用のシステムにサービス区画は定義されていません。

サービス区画のフィールドに Yes が表示されている場合は、ご使用のシステムにサービス区画は定義されています。

- c. サーバー IPL 要求のフィールドに Yes が表示される場合は、サーバー・ファームウェアへの変更をアクティブにするために、サーバー IPL の実行が必要となります。

サーバー IPL の実行が必要な場合は、サーバー IPL ソースのフィールドに Temporary が表示されていることを確認してください。サーバー IPL の実方法については、System i インフォメーション・センターを参照してください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/i5os/index.jsp?topic=/rzahg/icmain.htm>

(IBM i および関連ソフトウェア -> IBM i および関連ソフトウェアの保守管理 -> ソフトウェアの修正の使用 -> 修正のインストール -> 手順 3:修正のインストールのシナリオを選択する -> ハードウェア管理コンソールによって管理されるシステムでの修正のインストール)

**注:** ご使用のサーバーに一つの区画しか定義されていなければ、特別なステップを実行する必要はありません。次回の IPL 時に、サーバー・ファームウェアへの変更がアクティブになります。

6. この時点で、通常システム操作を再開することができます。できるだけ早い時期に、もう一度システムのバックアップをとります。

これらの累積 PTF パッケージについてご意見および問題がございましたら、ソフトウェア・サービス提供者 (弊社ビジネス・パートナーまたは弊社営業担当員) にご連絡ください。